

	項目	変更前（7月8日公開）	変更後（公告予定）
1	体育館 延べ面積	6,000㎡程度	上限4,250㎡
2	諸室面積	－	防災備蓄庫以外は適宜とする。
3	アリーナ（競技フロア）	ハンドボールコート公式 1面以上 バドミントンコート 7面 1,600㎡～2,300㎡	ハンドボールコート公式 1面 バドミントンコート 6面 1,600㎡程度
4	アリーナ（観客席（固定））	500～1000席程度	500席程度
5	軽運動室	柔剣道場利用も想定	剣道の練習利用も想定 単独の室として設ける
6	トレーニングルーム	トレーニング機器を40台程度設置	トレーニング機器を設置
7	会議室・研修室	収容人員：60人程度 可動間仕切壁により分割した利用が可能な構造とする。	収容人数：30人程度 可動間仕切りの記載削除 他室と兼用利用の提案可
8	だれでも更衣室	必須施設	あると望ましい施設
9	トイレ	二方向の出入口 パウダーコーナーを設置	【削除】
10	キッズコーナー	必須施設	任意施設
11	控室	－	【追記】他室と兼用利用の提案可
12	管理・大会エリア（会議室）	－	【追記】他室と兼用利用の提案可
13	駐車場	250台程度	200台程度
14	外構（緑地面積）	本事業の敷地範囲の面積に対して10％以上	本事業の敷地範囲の面積に対して25～30％以上
15	敷地条件（用途地域）	第1種住居地域	商業地域へ変更予定
16	敷地条件（建ぺい率）	60％	80％へ変更予定
17	敷地条件（容積率）	200％	400％へ変更予定
18	環境保全・環境負荷低減	「ZEB Oriented」の性能基準に適合する建築物とすること。	省エネ再生可能なエネルギーを除いた一次エネルギー消費量が、省エネ基準の基準値から30％削減となる省エネ性能の水準に適合すること。
19	ネーミングライツ	－	体育館を対象施設としてネーミングライツの募集を行うため、看板等の表示など、ネーミングライツ決定事業者の意向を計画に取り入れること。なお、これらに係る費用はネーミングライツ決定事業者が負担するものとする。
20	キュービクル	キュービクルの既存利用、撤去・新設は事業者の提案による。	既存キュービクルは千曲線の整備に合わせて撤去し、既存の施設に加えて新体育館への電力供給を行うキュービクルを新たに移転整備すること。また、戸倉体育館エリア全体の整備状況に合わせて将来拡張できるように計画すること。
21	構内情報通信網設備	－	【追記】認証方法は端末から行うこととし、SSIDとパスワードを掲示周知する方法は不可とする。
22	給水設備	受水槽方式	直結直圧の貯水方式（地上式または地下式）または同等の機能を有するもの
23	交付金申請補助業務	・学校施設環境改善交付金（文部科学省） ・社会資本整備総合交付金（国土交通省） ・都市構造再編集中支援事業（国土交通省） ・デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府） ・ZEB普及及び促進に向けた省エネルギー建築物支援事業（環境省） ・その他対象となる交付金等	・都市構造再編集中支援事業交付金（国土交通省） ・公共施設等適正管理推進事業債（集約化、機能移転）（総務省） ・その他対象となる交付金等
24	修繕費	修繕費の支払いについて、市は、事業者の修繕業務実施内容に応じた金額を支払う。なお、1回あたりの支払い額及び年間の支払い上限額は別途協議する。	・事業者は、事業期間において、本施設が正常に機能するために必要な修繕を、規模の大小に関わらず全て実施すること。
25	施設予約システム	－	【追記】予約システム導入費用は事業者負担となりますが、市内の他のスポーツ施設も本システムで利用が可能な場合は、施設数に応じて按分等により、別途市でその分の費用を負担することも可能とする。詳細は別途協議とする。
26	広報活動	本施設の開館式典前までに、本施設の概要を記載した利用案内パンフレット・リーフレット等を作成すること。	本施設の開館式典前までに、本施設の概要を記載した利用案内パンフレット・リーフレット等を1,000部程度作成および電子データで納品をすること。
27	開業式典	－	【追記】開館式典の主体（参加者等への案内含む）は市で行い、事業者側は物品の準備、こけら落とし試合等の記念企画を行う。